

NEWS RELEASE

平成28年3月1日

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局
(独立行政法人日本スポーツ振興センター内)

スポーツを通じた国際貢献事業「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラム

タイ・バンコクにてラグビー教室の開催！

日本スポーツ振興センターと日本ラグビーフットボール協会が連携し、タイの子どもたちへのラグビー国際交流を実施

報道関係各位

日本スポーツ振興センター※1は、日本ラグビーフットボール協会と連携し「スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)※2」の一環として、バンコクの子どもたちにラグビー教室を開催いたしました。

本イベントは2019年のラグビーワールドカップ開催を控え、アジアにおけるラグビームーブメントを促進させるため、タイ・バンコク学生へのラグビー普及活動の一環として2日間にわたり現地の学生へラグビー教室を行いました。ラグビー教室はラグビー元日本代表向山昌利氏を中心に計画され、初日は女子大学生選手を対象にラグビー教室を行い、2日目は小学生を対象にタグラグビー教室を行い、現地の子どもたちと日本人の子どもたちがタグラグビーを通じて交流しました。

日本からは向山氏の他にラグビー元日本代表の四宮洋平氏、女子セブンズ元日本代表井上愛美選手、伊藤絵美選手、流通経済大学ラグビー部の学生2名が参加し、現地の学生へ代表選手としての経験や日本式の練習方法を伝え、交流を深めました。



ラグビー女子セブンズ元日本代表 井上愛美選手 コメント

「将来世界大会で戦うことを楽しみにしています。同時にタイ選手の独特のステップにやられないように対策を練っていきたくと思いました。今後、日本もタイも含めたアジア全体を盛り上げていければと思いました。」

現地参加者 女子大学生選手コメント

「日本代表の方々とラグビーの勉強ができ、練習方法などとても参考になりました。将来、日本代表と対戦したいと思いました。」

■ スポーツ・フォー・トゥモローホームページ
<http://www.sport4tomorrow.jp/jp/>

◀ お問い合わせ先 ▶

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局
(独立行政法人日本スポーツ振興センター内)

担当 小川・岸

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-7-5 青山 MSビル 7階

TEL:03-6804-2776 FAX:03-3403-1570

日本スポーツ振興センターは、SFT コンソーシアム事務局業務を担当しています。

【実施概要】「JSC×JRFU ラグビー教室」

| | スポーツ・フォー・トゥモロー Rugby Clinic for Ladies | スポーツ・フォー・トゥモロー 日タイ・キッズ・タグラグビー交流 |
|------|---|---|
| 日時 | 2月20日 | 2月21日 |
| 会場 | ワチェラウッドカレッジ(バンコク) | ワチェラウッドカレッジ(バンコク) |
| 参加者 | タイ在住の大学女子ラグビー選手 | ワチェラウッドカレッジ生徒 タイ在住の日本人生徒 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none">・ 7人制ラグビーの指導会・ 日本人アスリートによる講演会 | <ul style="list-style-type: none">・ 教育プログラム・ タグラグビーの指導・練習・大会・ アフターマッチファンクション・ ラグビー部員への練習指導 |
| 協力団体 | <ul style="list-style-type: none">・ タイラグビー協会・ ワチェラウッドカレッジ・ 流通経済大学 | <ul style="list-style-type: none">・ タイラグビー協会・ ワチェラウッドカレッジ・ バンコクジャパニーズラグビーフットボールクラブ・ 流通経済大学 |

1 日本スポーツ振興センターとは

我が国におけるスポーツの推進のための中心的な役割を果たす独立行政法人。

2 スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)とは

- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催国として、2014年から2020年までの7年間で、開発途上国をはじめとする100カ国以上の国において、1,000万人以上を対象に、世界のよりよい未来のために、未来を担う若者をはじめ、あらゆる世代の人々にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていく取り組み。外務省とスポーツ庁が連携し日本国政府が主導するプログラムである。
- ・ このプログラムを、日本国政府として着実に実施していくことは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた我が国の国際公約の一つ。
- ・ 行政機関、関係団体、大学等が保有している知見の交換、各機関の連携協力を促進し、国際社会にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていくことを目的に、スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム(SFTC)を形成している。
- ・ SFTCには平成28年2月24日現在で147団体が加盟している。